

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所広報 (2026 年 5 月)

研究発表会のお知らせ

2026 年度、第 1 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時 : **2026 年 6 月 1 日 (月) 午前 11 時 00 分～**

参加方法 : 本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。

Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。

ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者 : **カルリノ サルバトーレ 先生 (外国語学部 日本語学科)**

題 目 : **世界の言語から見た日琉諸語の手法・程度・質を表す指示語**

概 要 : 世界の諸言語の指示語研究において、手法・程度・質(Manner, Degree, Quality=MDQ)を表す指示語の研究は、いまだ十分とはいえない。日琉諸語の指示語研究も、標準語や中央語を対象とした歴史的研究を除いて、ほぼ同様の状況にある。特に、各地域言語の MDQ 指示語の多様性についての研究は、立ち後れをみせている。発表者は、日琉諸語の MDQ 指示語に着目して研究を進めてきた。本発表は、日琉諸語の MDQ 指示語を形態・統語・意味という三つの面から概観する。これによって、日琉諸語の MDQ 指示語を世界の諸言語のなかに位置づけるための一階梯としたい。

②発表者 : **福永 美和子 先生 (外国語学部 英語学科)**

題 目 : **1980 年代の西ドイツにおけるナチ司法の再検証**

—映画「白バラ」をめぐる論争と民族裁判所の争点化

概 要 : 第二次世界大戦下のドイツで、ナチ体制への抵抗を呼びかけたミュンヘンの学生グループ「白バラ」は、民族裁判所の過酷な追及を受け、中心メンバーは処刑された。戦後の西ドイツでは、1982 年に封切られた映画「白バラ」をきっかけに、民族裁判所の歴史的評価やその判決の扱いをめぐる論争が巻き起こった。本発表は、とくに連邦司法省の対応に着目して、この論争の展開と帰結をたどり、甚大な人権侵害をもたらしたナチ司法の問い直しにどう寄与したかを考える。

以上